

ほっと はーと



CONTENTS

- 2 昨年度の病院実績
- 3 外来受診の流れ／むすびプロジェクト
- 4 薬剤科だより／栄養科通信
- 5 きずな
- 6 リハビリだより 訪問リハビリほっとニュース
- 7 リハビリ機器紹介
- 8 プチ脳トレ／病院案内



令和7年度 回復期病棟実績のご紹介

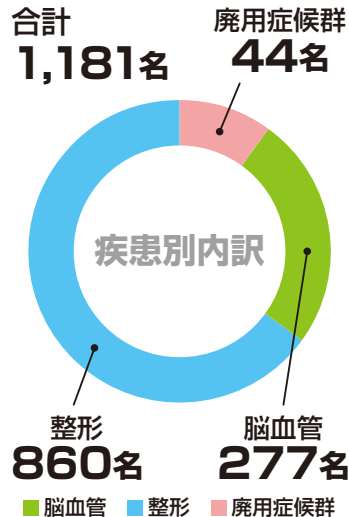
(集計期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

入院患者さまについて

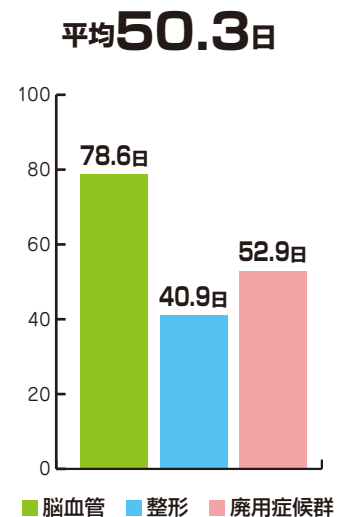
1.入院患者数+入院患者平均年齢



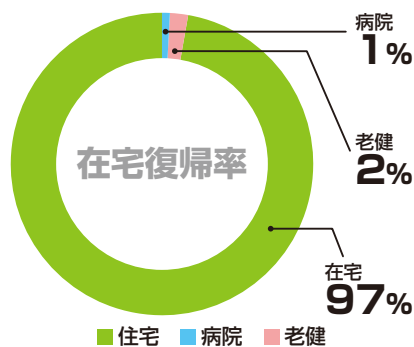
2.疾患別内訳



3.疾患別在院日数



在宅復帰率



〈算出方法〉

在宅 退院患者数 ÷ 退院患者数

※死亡や再入院・転院を除く

在宅復帰率在宅復帰率97%(全国平均78.4%※)
全国平均よりも高い在宅復帰率を誇っています。

※回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に対する調査報告書(2025年2月)より

回復期リハビリテーション病棟は、自宅復帰への通過点です。

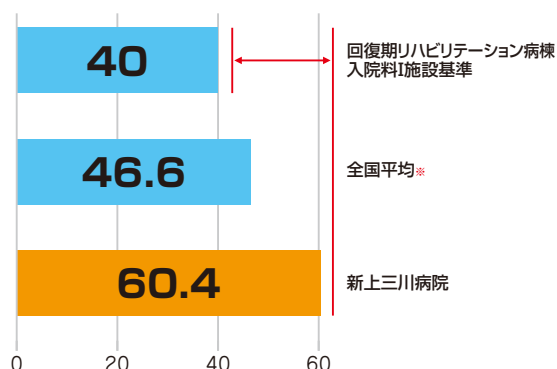
「家に帰りたい」という患者さまの気持ちに寄り添い、質の高いリハビリテーションを提供しています。

当院の在宅復帰率は全国平均よりはるかに高い97%、ほとんどの患者さまがご自宅に復帰しています。

重症な方の受け入れを積極的に行っている中でも、高い在宅復帰率を維持していることが当院の誇りです。

回復期実績指数

全疾患合計



施設基準を上回る回復実績指数60.4

質の高いリハビリテーションの提供を行っています。

※回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に対する調査報告書(2025年2月)より

回復期実績指数とは、リハビリテーションの効果を測る指標の1つです。

リハビリテーションの提供により、患者さまの日常生活動作がどの程度改善したかを数値化したものです。

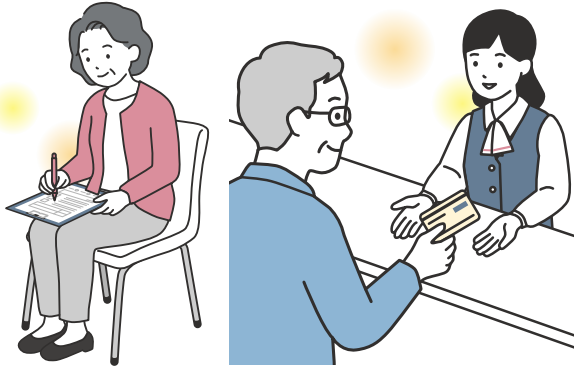
現在、厚生労働省が定める回復期リハビリテーション病棟入院料Iの施設基準は40以上(令和7年度時点)となっていますが、当院の回復期実績指数は、全国平均を上回る60.4を示しています。

外来受診のながれ

はじめて受診される方へ

はじめて受診される方(初診)は、問診票の記入が必要です。

受付の際には、マイナ保険証(健康保険証)およびその他の医療受給者証をご提示ください。また、他医療機関からの紹介状をお持ちの方はご提出をお願いいたします。



再診の方へ

再診の方は予約がある場合、受付機に診察券を通して受付をお願いします。

予約がない場合は直接再来受付職員にお声がけください。



むすびプロジェクト



「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者さんが、その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

第6回

むすびプロジェクト研修会

脳卒中を経験して気づいた“退院”がゴールじゃなかったこと

第6回むすびプロジェクト研修会が令和8年2月27日に開催されました。当日は関東カマチグループのスタッフ957名が参加し、NPO法人列島会クリエイティブハウスの境正彦様(B型目標工賃達成指導員)と老川大輔様(作業療法士/サービス管理責任者)による貴重な講演が行われました。境様のご講演では、退院後の復職や運転再開に向けた取り組み、さらにはゴルフや登山といった趣味・余暇活動への飽くなき挑戦が語られました。重度な麻痺と高次脳機能障害をかかえながら、高い目標を持って、生活されている姿に驚かされるとともに「退院はゴールではなく、その先にある人生こそが本番である」という視点を持つ大切さを改めて痛感しました。老川様からは障害という「弱み」ではなく、その人が持つ「強み」に着目し、それを活かしていく支援の考え方が紹介されました。たとえ失敗のリスクがあっても、まずは経験してもらい、本人に感じてもらうことを優先する支援や姿勢には多くのスタッフが感銘を受けました。

当事者の「生の声」を聞く機会が少ないスタッフにとって、今回の研修は非常に貴重な時間となりました。今回の学びを日々の業務に還元するとともに、今後もこのような有意義な研修会を継続していきます。



▲ 列島会 境様(左) / 老川様(右)



▲ 開催風景

知っておきたい!

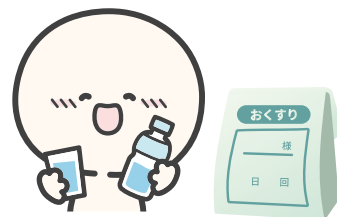
正しい薬の取り扱い方とは？

いよいよ夏本番を迎え、毎日厳しい暑さが続いています。

多くの患者さまが、普段から飲み薬や目薬、湿布などのお薬を使用されているのではないのでしょうか？

お薬は、夏場の温度や湿気に対し、とてもデリケートなものです。

今回は夏を安全に乗り切るため、正しいお薬の取扱方法についてご紹介します！



----- やってしまいがちな「NG例」 -----

①車内への放置は絶対にNG!

真夏の車内（特にダッシュボード）は、70℃を超えることがあります。

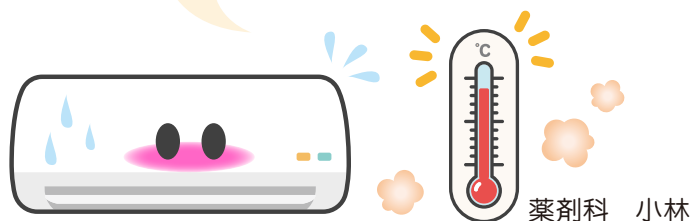
お薬の成分が変質してしまう原因になりますので、**車内に放置するのは絶対に避けましょう。**



②エアコンを切った室内の窓際に保管

お出かけ中、エアコンを切ったお部屋の窓際は想像以上に高温になります。

お薬は「直射日光の当たらない、涼しい日陰」に保管してください。



薬剤科 小林

栄養科
通信

6月・7月の行事食

（お楽しみランチ(6月)）

お品書き

- 醤油ラーメン ●春巻き ●酢の物
- ミルクプリンの紫陽花ゼリーのせ



（七夕(7月)）

お品書き

- 七夕そうめん ●天ぷら盛り合わせ
- 冬瓜のかに餡かけ ●サイダーゼリー



患者さまからの

声!

病院でラーメンが出てくるとは
思わなかったよ。満足です。

皆様の心配りに心より感謝
いたします。完食しました。

病院で天ぷら盛り合わせが食べられるなんて
思わなかった。美味しかったよ。毎日お願いします。

デザートが甘すぎず
丁度いいお味でした。

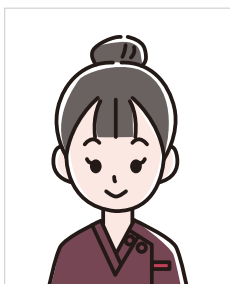
涼し気な青いゼリー
美味しかった。

栄養科 六本木



きずな

記憶に残ったエピソード



看護部 武田

介助が必要となった患者さまから
「迷惑をかけてごめんね」と話されることがあったため、
その思いを受け止めながら、できない部分は一緒に行い、
可能な動作はご本人さんに行っていただけるよう関わりました。
そこで患者さまの思いを尊重した関わりの重要性を学び、
今後の看護に活かしていきたいと感じました。

Q&A

Q1 この仕事を選んだ理由を教えてください。

私が看護師を目指した理由は、高校時代に進路に迷っていた中で看護科の見学に参加し、実際の学習内容や現場を想定した学びに触れたことで、医療の現場で人と関わりながら支える仕事に関心を持つようになり志望しました。

Q3 仕事をする上で大切にしたいことはありますか？

一人で判断せず、多職種と情報共有しながら安全で適切なケアにつなげることを大切にしています。患者さまの状態は多面的に捉える必要があるため、気づきをそのままにせず共有することを意識しています。

Q2 どうして新上三川病院を選んだのですか？

看護学生時代に新上三川病院で実習を行い、脳疾患で片麻痺のある患者さまを受け持たせていただきました。日々の関わりを通して回復過程を間近で見ることができ、やりがいを感じた経験から志望しました。

Q4 患者さまへのメッセージをお願いします。

当院は、急性期から回復期リハビリテーション、在宅復帰までを見据えた段階的な医療を提供しています。患者さまやご家族と情報を共有しながら、急性期治療から回復期まで幅広く対応し、チーム医療で在宅復帰を支援していきたいと考えています。

my

マイトレンド

最近ハマっていることをご紹介します

trend

ハマっていることは純喫茶や古着屋さんに行くことです。

落ち着いた雰囲気の中で過ごしたり、自分の好みの古着屋さんを探し回る時間が気分転換になっています。





リハビリだより



回復期リハビリテーションの紹介



回復期リハビリテーションでは、脳卒中や骨折後の患者さまを対象に、在宅・社会復帰を目指した集中的なリハビリを実施しています。一人ひとりの状態や生活環境に応じた実践的な訓練を行い、多職種が連携して安心した在宅復帰を支援します。

リハビリテーション科 責任者

訪問リハビリほっとニュース



庭のクレオメは夕方に花を開き、翌日の昼にはしぼんでしまいます。きれいな姿を写真に収めるには、咲く時間を見計らう必要があり、ようやく満足のいく一枚を撮ることができました。カメラを始めたのは20～30代の頃、周りで流行していたのがきっかけです。それ以来、風景写真を楽しみ、45歳頃には知り合いの勧めでグリムの森で写真展を開く機会にも恵まれました。人との縁は大切なものです。穏やかな気持ちでシャッターを切ると、良い写真が撮れる気がします。久しぶりにデジカメで撮影し、写真の楽しさを改めて実感しました。次は一眼レフも再開したいと思っています。

訪問リハビリ利用者

リハビリ機器紹介

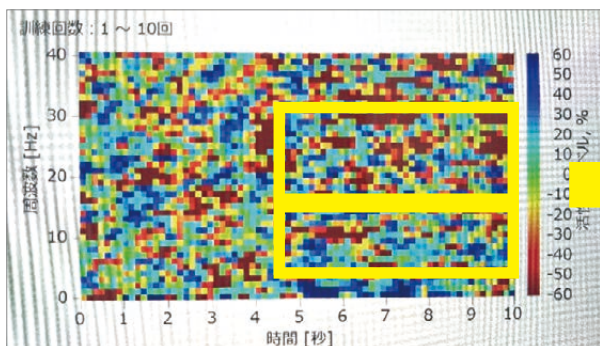
脳と体をつなぐリハビリ

BMI (Brain-Machine-Interface)

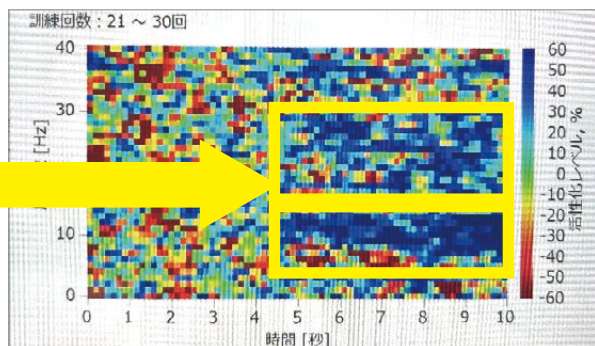


当院では、入院患者さまを対象に脳卒中後の上肢機能回復を目的として、BMIを用いたリハビリテーションを行っています。BMIとは、「手を動かしたい」「指を伸ばしたい」という脳の中の運動意図を脳波として捉え、その信号をもとに筋肉へ電気刺激を与え、動作を引き出す新しいリハビリテーション技術です。

訓練開始時



訓練開始後



- 1 センサーを装着し、脳波を測定
- 2 動かそうとした瞬間の脳の信号を解析
- 3 信号から、手や指の筋肉に電気刺激
- 4 実際に動いた感覚を脳へフィードバック

BMIの導入により、脳の働きや運動イメージを可視化しながら、より根拠に基づいたリハビリを行えるようになりました。日常生活や生活行為へとつなげることで「自分の手で生活したい」という想いに寄り添った支援を続けていきます。

リハビリテーション科

基本方針

病院
理念

手には技術
頭には知識
患者様には愛を

① 安心・安全な医療

学問的、技術的に高い水準の安心・安全な医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

② 段階別の医療を提供 急性期・回復期リハビリテーション医療

患者様、家族と医療情報を共有し、整形外科疾患患者様においては急性期治療から、その他リハビリを必要とする疾患患者様には回復期リハビリテーションから在宅までを支援するチーム医療を提案します。

③ 地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、寝たきり「ゼロ」と在宅復帰を目標に、誰でも安心して利用できるリハビリテーション病院を目指します。

外来医師診療予定一覧表

令和8年7月現在

		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	高德 賢三 金谷 裕司 吉川 寿一 倉林 寛	大上 仁志 関矢 仁 吉村 広志 二部 悦也	金谷 裕司 小川 雄也 吉川 寿一 上本 宗唯	高德 賢三 金谷 裕司 樋貝 保弘	大上 仁志 小川 雄也 吉川 寿一 吉村 広志	当番医
	午後	高德 賢三 (関節専門)	関矢 仁 (関節専門)	大上 仁志 (脊椎専門) 第1・3・5のみ	高德 賢三 (関節専門)	関矢 仁 (関節専門)	
内科	午前					鶴岡 秀一	熊谷 雄治
	午後	大森 司 益子 貴史			大高 景	鈴木 悠介	
泌尿器科	午前					山口 圭一	
	午後			今村 理沙			
形成外科	午前						
	午後				佐藤 諄之介		
リウマチ	午前						
	午後	(隔週) 増淵 正昭					
痛風	午前						(第1週のみ) 近藤 清明
	午後						

プチ

脳トレ

問題

難読漢字です!

何と読めるか、ヒントを頼りにお答え下さい。

正解は、3P下に掲載しています。

① 凸凹

(表面の様子などを表します。)

② 微風

(優しく吹く心地よい風のことで。)

③ 海月

(海の中をふわふわと漂っている、透明な生き物です。)

④ 熱り

(興奮が冷めやらない状態のことで。)

⑤ 一入

〔喜びも〇〇〇〇だ〕のように使います。〕

患者支援センターから

患者支援センターでは、入院相談だけではなく、患者さま、ご家族さまのお困りごとについてのご相談窓口を設けております。
お一人でも悩まずに、ぜひご相談ください。

ご相談をご希望の方は
患者支援センターまでお電話ください。

TEL 0285-56-7020

FAX 0285-56-2028



一般社団法人 巨樹の会

新上三川病院

〒329-0611 栃木県河内郡上三川町上三川2360

TEL 0285-56-7111 FAX 0285-56-7165

https://www.kaminokawa-hp.jp/



診療科目

●整形外科 ●リハビリテーション科 ●内科
●泌尿器科 ●麻酔科 ●放射線科 ●形成外科

診療時間のご案内

月～金	午 前	午 後
受付時間	8:00～11:30	13:00～16:00
診療時間	9:00～12:00	14:00～17:00
土曜日	午 前	午 後
受付時間	8:00～11:30	休 診
診療時間	9:00～12:00	休 診
休診日	土曜日午後・日曜日・祝祭日・年末年始	



●JR宇都宮線石橋駅下車
関東交通バス
新上三川病院前で下車
徒歩1分

●新国道4号線
上三川交差点を真岡方面
(県道47号)へ1.3Km
付近交差点を北へ約400m